

---

# 脳内血ツ水浴場

シャー芯

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

脳内血ツ水浴場

### 【Nコード】

N9413E

### 【作者名】

シャー芯

### 【あらすじ】

なんとなく適当に書いた詩。時間に余裕のある方。へ。

ある日、午前3時48分。目が覚める。

起き上がろうと脳が身体に絶対命令した。

すると、身体がとても軽く。

不安になった。

「私は死んでしまったんじゃないか？」

確かめるため、おもむろに、手探りで、先が少し丸くなった鉛筆を2本。

感覚がない両手。

仲良く1本ずつ、握る。

目を見開き、瞬きしないで！

仲良く一緒に突き刺す。

視界は一瞬にして暗く、身体は口を大きく開けて、奇声を発して、両手は額を強く抱え込む。

何だろう？私は水の中に居る？

溺れて終う。

辺りは、水？赤い水？

真っ暗で解らない。

痛みと呼ばれる単細胞な感覚。

素晴らしいね。

神。痛み。悲しみ。

暗闇しか見詰める事の出来なくなった馬鹿な両眼。

私にお似合いだ。

私の中の神が優しく、醜く微笑んだ。

そんな時だったっけ？

光が見えたんだあ……。

何の生なのだろう？

何故！？

「望まれて産まれてきた」等という法螺を二つ返す？

私の命は必然。

赤の他人の男と女。

ふたりはアダムとイヴ。

っていうのは、少し、笑っちゃっね。

性欲に負けて？魅せられて？

私は産まれた。

「女の子がほしい」

子供は人間の欲の塊。

そんな生き物。そんな世の中。

私は一度も愛せない。

白い淡い光は不思議で、安らかで。

とつても心地よいんだ。

だけど、なんだか寒い。冷たい。

死ぬってこーゆーことお？自問自答で笑っちゃった。気付いたよ。解ったよ。悟ったよ……。

私は生きたんだ。

17年間生きたんだ。

愉しかったよ。

苦しかったよ。

鏡の中。映る、もう独りの自分。

言えなかったよ。

苦しかったよ。

二重人格？馬鹿にされたね？

でも、あの日はエイプリルフルじゃないよねえ。

「貴方は？」

殺人鬼に聞く。

寒くないよ。痛くないよ。

何もない。

泥人形になった私の身体。血ツ水浴場で溺れてる。

両眼には赤い鉛筆。

冷たい頬には血の涙。

奇形だね。お似合いだね。私はこうなるために、産まれてきたんだね！

素敵じゃない？

また、自問自答？

違うよ。

いまのは、私の中の殺人鬼。

真っ白。真っ白。無の世界。

ようやく辿り着いた。

私の生きた真意と証。

神は私を撫でてくれるかな？

おかえり、ていつてくれるかな？

血で出来た羊水。

何だか、こころ、温かく、泣きたい。啼きたい。嘆きたい。

最期の思い出。

心臓の鼓動。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9413e/>

---

脳内血ツ水浴場

2010年10月11日18時31分発行